

文化財を災害から守るまちづくり・ひとづくり

文化財を災害から守るまちづくり・ひとづくり

京都市消防局では、文化財を火災等の災害から守るため、様々な防火・防災対策に取り組んでいます。ここでは、その中でも全国で類を見ない、『ひとづくり』の取組として「文化財防災マイスターの養成」及び「文化財市民レスキュー体制の確立・育成」の2事業と、『まちづくり』の取組として、東山区清水・弥栄地域における「文化財とその周辺を守る防災水利整備事業」を紹介します。

文化財防災マイスターの養成

■ 文化財防災マイスターの概要

文化財社寺等は、広大な敷地を有し、参拝者や観光客等が多い反面、社寺等の関係者は少数であるため、いつ発生するか分からない災害に対して、初動対応の可能な人を養成する必要があります。

このため、文化財愛護の精神が高く、日頃から文化財社寺等を訪れる機会が多い観光ガイド等を対象に、平成22年度から消火訓練や救急訓練を含めた講習を実施しています。講習修了者には修了証、応急手当用資器材を配付し、防火・防災の知識を身に着けた「文化財防災マイスター」として、普段の観光等の仕事をしていただきながら、文化財社寺等の参拝者や観光客の安心安全及び文化財の保護に協力をいただいています。

■ 文化財防災マイスター研修

研修対象者	観光ボランティアガイド, 観光タクシー運転手, 観光バスガイド等	
実施場所	京都市市民防災センター	
研修内容 (6時間)	救急講習 (3時間)	AEDの使用方法を含めた心肺蘇生法を中心とした応急手当の講習 (普通救命講習)
	防火講習 及び訓練 (3時間)	災害発生時の初動活動や文化財防火に関する講義
		社寺に設置の防災施設の使用法等



自動火災報知設備等取扱指導



放水訓練



普通救命講習

文化財市民レスキュー体制の構築・育成

■ 体制の構築

「文化財市民レスキュー体制」とは、京都市消防局が従前から進めてきた「文化財の関係者と地域の住民とが相互に協力して、文化財を火災から守る体制」をもとに、具体的な行動計画を策定して体制の整備を図るもので、文化財保護法制定 50 周年の節目であった平成 12 年度から推進している事業です。

国宝や重要文化財等の建造物や美術工芸品等を有する社寺等のうち、個別の防火管理の状況、災害時における活動体制等の調査の結果、地域住民等による協力が必要と認められたものにおいて、社寺等の関係者と地域住民の話し合いにより、平常時の火災予防や災害発生時に、より迅速な消火・通報・文化財搬出等の初動活動を実施できる「文化財市民レスキュー体制」が、市内 238 箇所の社寺等で構築されています。



文化財市民レスキュー訓練（光福寺）

■ 育成指導

確立されたレスキュー体制には、活動に必要な器材を配分し、文化財の搬出訓練、放水訓練、災害図上訓練（DIG）など、自主的かつ自立的な活動を支援するとともに、消防隊等との合同訓練や研修等を行い、より確実な体制づくりに取り組んでいます。

■ 文化財市民レスキュー体制の活動

災 害 発 生 時 の 活 動	平 常 時 の 活 動
火災の発見と出火場所の確認	・ 普 段 の 備 え 連 絡 体 制 の 確 認 防災施設の取扱方法の確認 火 災 予 防 の 話 合 い 災害時における相互応援の検討
召 集 と 応 召	
1 1 9 番 通 報	
初 期 消 火	
搬 出 活 動	
避 難 誘 導	・ 火 災 の 警 戒 祭 礼 等 の 警 戒 敷 地 内 の 巡 回
情 報 伝 達	
応 急 救 護 活 動	



文化財とその周辺を守る防災水利整備事業

京都市内の貴重な文化財を地震による大火から守るために、大容量の耐震型防火水槽や市民が容易に利用できる消火栓の整備などを柱とする「文化財とその周辺を守る防災水利整備事業」を平成 18 年度から東山区清水地域の産寧坂伝統的建造物群保存地区及びその周辺で展開しました。平成 23 年度末には 1,500 m³級耐震型防火水槽(2 基)、送水用動力ポンプ、配水管(2,060m)、市民用消火栓(43 基)、消防隊用消火栓(20 基)、延焼危険の高い文化財への延焼を防止する「文化財延焼防止放水システム」等の整備が完了し、運用を開始しました。

また、平成 22 年度には、文化財と地域を守る「東山区清水・弥栄防災水利ネットワーク」が結成され、年 1 回一斉放水訓練を実施し、有効に活用できる地域住民を育成するとともに地域の絆を強固にし、地域防災力の向上を目指しています。

■ 整備内容（平成 18 年度～平成 22 年度）

1,500 m ³ 級 耐震型防火水槽	特 徴	・ 25m プール 5 個分に相当する水量を備えた全国最大規模の防火水槽 ・ 縦 41m×横 14m×深 3.5m, 2 基設置
	設置場所	・ 東山区下河原町高台寺公園地下 ・ 東山区清閑寺下山町清水寺子安塔西側地下
送水用動力 ポンプ庫	特 徴	・ ポンプ能力 最大 6,000ℓ/分 ・ 配水管の水圧を一定に保つため、管内の減圧を感知し自動制御する機能を有する。 ・ 自家発電設備があり、停電時でも連続 6 時間稼動が可能
	設置場所	・ 東山区下河原町高台寺公園内
ポリエチレン 製配水管	特 徴	・ 従来の配水管より優れた耐震性能を備え、近年発生した大地震で被害が極めて少ない実績を持つ。 ・ 2,060m 敷設されている。
	設置場所	・ 一年坂, 二年坂, 産寧坂, 八坂通, 松原通(清水坂), 高台寺南門通, 下河原通など
消 火 設 備	市民用 消火栓	・ 43 基設置 ・ ホース (30m) の延長が容易で、放水操作を手元で簡単に行える。
	消防隊用 消火栓	・ 19 基設置 ・ 地下式
防災器材の配備		・ 防災意識及び防災能力の向上を図るため、ヘルメット、レスキューセット、テント等の防災器材を地域に配備



杉材を使用し、景観に配慮した市民用消火栓



地域に配備した防災器材



景観に配慮した送水用動力ポンプ庫



公園の地下に整備した耐震型防火水槽

文化財とその周辺を守る防災水利整備事業の概要



大容量の防火水槽から耐震性に優れた配水管を地域一帯に敷設し、誰もが使える市民用消火栓を多数配置することにより、地域住民の防災力を最大限にいかし、文化財とその周辺地域を火災から守る、全国でも類を見ない事業です。

緊急消防援助隊の派遣状況

■ 派遣部隊の登録状況

緊急消防援助隊は、阪神・淡路大震災を教訓に全国の消防機関による応援を速やかに実施するため、平成7年に創設されました。平成16年4月には、消防組織法の改正により法律に基づいた部隊となり、平成30年4月現在では、全国6,143部隊（重複含む。）が登録されています。

京都市においては、消防ヘリコプターを運用する航空小隊や都道府県隊をまとめるための指揮支援隊をはじめ、消火・救助・救急小隊など、多くの部隊を登録し、大規模災害に備えています。

※ 平成30年4月現在の登録隊数 （複数部隊への重複登録を含む。）

- ・指揮支援隊… 3隊
- ・京都府大隊指揮隊… 1隊
- ・統合機動部隊指揮隊… 1隊
- ・消火小隊… 17隊
- ・救助小隊… 2隊
- ・救急小隊… 5隊
- ・通信支援小隊… 1隊
- ・後方支援小隊… 8隊
- ・特殊災害小隊… 3隊
- ・特殊装備小隊… 11隊
- ・航空小隊… 2隊
- 計…54隊



■ 派遣状況（平成30年8月現在）

京都市消防局では、消防庁長官の求め・指示により、創設以来10回出動しています。

1	【平成15年十勝沖地震】出光興産北海道製油所原油タンク火災に伴う警戒活動 平成15年10月13日～22日（10日間） 北海道苫小牧市 3隊7名派遣 〔指揮隊1，消火隊2〕
2	【平成16年7月福井豪雨】浸水家屋に取り残された住民の救助活動等 平成16年7月18日～19日（2日間） 福井県月見4丁目，5丁目 12隊52名派遣 〔指揮支援隊2，京都府指揮隊1， 消火隊1，救助隊3，救急隊1， 後方支援隊3，航空小隊1〕

	【ＪＲ西日本福知山線列車事故】列車事故に伴う情報収集活動
3	平成 17 年 4 月 25 日 兵庫県尼崎市 1 隊 5 名派遣〔航空小隊〕（ヘリＴＶ電送システムを使用した消防庁への事故状況の電送等）
4	【奈良県吉野郡上北山村土砂崩れ車両埋没事故】土砂崩れによる車両埋没事故に伴う指揮支援活動等 平成 19 年 1 月 30 日 奈良県吉野郡上北山村 2 隊 7 名派遣〔指揮支援隊 1，航空小隊 1〕 （ヘリＴＶ電送システムを使用した消防庁への事故状況の電送等）
5	【平成 19 年能登半島地震】地震被害に伴う指揮支援活動等 平成 19 年 3 月 25 日～26 日（2 日間） 石川県金沢市，輪島市 3 隊 15 名派遣〔指揮支援隊 2，航空小隊 1〕 （指揮支援活動及びヘリＴＶ電送システムによる情報収集）
6	【平成 19 年新潟中越沖地震】地震被害に伴う情報収集活動 平成 19 年 7 月 20 日～23 日（4 日間） 新潟県新潟空港，柏崎 1 隊 5 名派遣〔航空小隊〕 （救急搬送活動及びヘリＴＶ電送システムによる情報収集）
7	【東日本大震災】津波被害に伴う救助活動等 - 陸上隊 宮城県本吉郡南三陸町 平成 23 年 3 月 11 日～4 月 13 日（34 日間） 延べ 159 隊，495 名派遣 - 航空小隊 山形県，長野県，宮城県，福島県 平成 23 年 3 月 11 日～18 日，3 月 18 日～25 日，4 月 1 日～5 日，4 月 10 日～14 日（20 日間） 延べ 4 隊，20 名派遣 - 福島第一原子力発電所 平成 23 年 3 月 27 日～31 日（5 日間） 延べ 11 隊，40 名派遣

8	【平成 28 年熊本地震】地震被害に伴う情報収集や要救助者の検索活動等 - 陸上隊 熊本県熊本市，南阿蘇村 平成28年4月16日～22日（7日間） 延べ46隊，126名派遣    - 航空小隊 南阿蘇村 平成28年4月16日～17日（2日間） 延べ1機，4名派遣   
9	【大阪府北部地震】地震被害に伴う情報収集 航空小隊 大阪府北部地域 平成30年6月18日 延べ1機，5名派遣
10	【平成30年7月豪雨】豪雨災害に伴う要救助者の検索活動等 陸上隊 広島県安芸郡熊野町川澄地区，広島市安芸区矢野地区，安芸郡坂町小屋浦地区 平成30年7月12日～8月1日（21日間） 延べ68隊，228名派遣      

全消会・消防庁 消防研究発表作品

京都市消防局では、消防研究発表会で発表された作品の中から毎年、一般財団法人全国消防協会主催の『消防機器の改良及び開発並びに消防に関する論文』と総務省消防庁主催の『消防防災科学技術賞』へ応募しています。

なお、『消防機器の改良及び開発並びに消防に関する論文』には、全国消防長会東近畿支部で行われる消防研究会において、支部長から推薦を受けた作品のみが応募されます。

■ 近年受賞した作品紹介（抜粋）

年度	受賞	タイトル	内容
平成29年	全国消防協会 最優秀賞	査察員教養シミュレーション動画の作成とその効果の検証について	新任査察員の現場査察の経験不足を補い、査察力を向上させることを目的として、査察員教養シミュレーション動画を試作し、効果を検証したものの。
平成29年	総務省消防庁 優秀賞	火災動画等を利用した筒先部署位置研修法の一考察について	ミニチュア建物燃焼実験動画及び火災現場動画を活用した筒先部署位置についての研修方法を研究したものの。
平成27年	総務省消防庁 優秀賞	積載型静電気拡散性オイルパンの開発について	導電性のコンテナとフィルムを用いることで、ガソリン等の流出時に発生する静電気を拡散させるとともに、コンテナと路面等の接触による火花の発生をなくすことで、出火の危険性を減らし、持ち運びも容易にする研究を行ったものの。
平成27年	全国消防協会 優賞	マスキングシートを活用した財産保護活動について	塗装作業等に用いられるマスキングを使用することで、火災現場での水損及び汚損防止活動を速やかに行うことが可能となる研究を行ったものの。
平成26年	全国消防協会 最優秀賞	部隊長のための「シミュレーションシート」&「シミュレーション動画」の作成とその効果	実火災を模擬したシミュレーション訓練を行うことで、経験不足を克服できるように、シミュレーションシートとシミュレーション動画を作成し、効果を検証したものの。
平成26年	総務省消防庁 優秀賞	道路狭あい地域における消防戦術について～逆引きによる消火栓への水利部署に関する検証～	狭あいな道路で消防車が消火栓までたどり着けないときに、消火栓からホース何本までなら車両まで送水が可能かの検証を行ない、道路狭あい地域における消防活動の問題や困難性を抽出し、解決策の検討及び検証を行なったものの。
平成25年	全国消防協会 最優秀賞	面体装着時の無線音声を明瞭にするマイクロフォンの改良について	面体装着時に無線発信をする場合、面体シールドで音声が減衰してしまい聞き取り辛いことがあったため、ハンドセットにカバーを取り付けることにより、シールド面に密着できるようにし、音声を明瞭化する研究を行ったものの。
平成25年	全国消防協会 最優秀賞	検査員の技能向上を目的とする情報共有システムの構築について～過去の情報資産を活用した効率のよい手法～	ベテラン職員の大量退職により、予防業務の質の低下が考えられるため、若手職員への指導を補完し、予防経験の浅い職員が自ら学び、積極的に活用できるツールとして、情報共有システムの構築について考察したものの。

■ 受賞作品写真紹介（抜粋）

- 査察員教養シミュレーション動画の作成とその効果の検証について



- 火災動画等を利用した筒先部署位置研修法の一考察について



- 積載型静電気拡散性オイルパンの開発について



従来のオイルパン



研究作品の折りたたみ状況及び展開した状況

- マスキングシートを活用した財産保護活動について



マスキナー



マスキナーを使用しての養生

- 道路狭あい地域における消防戦術について



狭隘路に進出した消防車両



逆引きによる水利部署

■ 受賞歴一覧

応募先	年度	区分	タイトル	賞の区分
全国消防協会	S50	機器	自動ガス遮断器の研究試作について	優賞
			シャッターの破壊方策について	努力賞
			非常用進入窓の実態について	努力賞
	S51	機器	大型はしご車のはしご先端位置確認燈の設置について	秀賞
			化学泡使用後における消泡剤の活用について	秀賞
		論文	子どもの火遊びの心理について	努力賞
			広告マッチの行方調査	努力賞
	S52	機器	消防用ホースの差込式結合金具の改良について	秀賞
			既設のガス風呂釜に設置できる空だき発見器及び防止器について	秀賞
			電熱式感知器加熱試験器の試作について	優賞
		論文	桧皮ぶきの燃焼について	優賞
			たばこによる可燃物の着火実験結果	優賞
			板ガラス破損時における飛散の実態と対策について	努力賞
	S53	機器	ろうあ者用火災感知器の考案について	秀賞
			天ぷら鍋の改良について	優賞
		論文	幼児の防火指導について	秀賞
			たばこによる寝具の着火性	努力賞
	S54	論文	消防自動車等の視界と（死角）と安全運行について	努力賞
	S55	機器	救助検索棒の試作について	秀賞
			赤色表示灯の改良について	秀賞
			煙感知器試験器の試作について	努力賞
			誘導灯の非常電源の定期自動点検機器の開発について	努力賞
	S56	機器	警報装置付「天ぷら揚簀」の試作について	優賞
		論文	静電気除去対策について	努力賞
	S57	機器	大型はしご車の梯上等高所活動時の墜落防止装置の試作について	秀賞
			改良型安全ベルトの試作について	優賞
		論文	身体障害者に対する防火指導の一方策について	秀賞
			油なべ火災用消火剤に関する一考察について	優賞
			簡易な間仕切壁等によるスプリンクラー散水障害について	優賞
	S58	機器	移動式ホースラックの考案について	秀賞
			自動火災報知設備の非火災報防止装置の試作について	優賞
			吸水シートの試作について	優賞
		論文	防ぎょ活動と体力について	最優秀賞
			水損防止に対する一考案について	秀賞
			安全な「しみ落とし用溶剤」の開発について	優賞
	S59	機器	ミニチュア油なべ火災実験器の試作について	秀賞
			電気ストーブに可燃物が触れた場合に通電を断にするための方策について	優賞

応募先	年度	区分	タイトル	賞の区分
全国消防協会	S59	論文	虫による煙感知器の非火災報防止対策について	最優秀賞
			スピーカーの耐熱性向上の一方策について	秀賞
	S60	論文	地中埋設配管の腐食防止に関する研究について	優賞
	S61	論文	イメージ・トレーニングの効果	最優秀賞
			洞道、ダクト等の火災における消火方法の考察	優賞
	S62	機器	石油ストーブ用カートリッジタンクの改良について	優賞
			閉鎖不良防火戸の修正が出来るヒンジの開発について	優賞
		論文	火災シミュレーションを取り入れた防火指導の一考察	最優秀賞
			屋内消火栓音声案内装置の試作及びその効果について	秀賞
	S63	機器	病院における避難計画評価方法の考察について	優賞
			水圧回転式乳化处理機の試作について	優賞
		論文	火災発生時におけるコンピューターによる水利選定の一考察について	最優秀賞
			高齢化対策としての装備の軽量化とその効果について	秀賞
	H1	論文	訓練用泡混合装置の試作について	優賞
			高所及び低所における救助器具の応用開発について	優賞
			必要ポンプ台数を決定するための方策（シミュレーション手法）について	最優秀賞
	H2	論文	災害現場活動における活動筋群の研究と消防ウエイトトレーニングについて	秀賞
			消火シミュレーターの開発について	秀賞
			火災危険予知シミュレーションビデオの開発について	最優秀賞
	H3	論文	災害現場用ゴム長靴のフィット化について	優賞
			常時閉鎖式防火戸開放警報装置の開発について	秀賞
			エマージェンシーコール（自動警報発信）の試作について	秀賞
	H4	論文	防火戸における色彩学的考察	秀賞
			災害現場活動等に対する教育用ビデオの作成について	秀賞
			防煙防火ロールアップスクリーンの試作	最優秀賞
	H5	機器	空気呼吸器の改良について	秀賞
			MULTIFARIOUS CASE 対応型誘導灯の試作について	優賞
			防火戸の閉鎖障害排除の考察について	最優秀賞
	H6	論文	階段用搬送具の開発について	秀賞
			電気ストーブに可燃物が接近した場合の安全装置の開発について	優賞
			てんぷら鍋火災実験器の改良	優賞
	H7	論文	マニュアル検証訓練（４項関係）の実施方法に係る一方策について	最優秀賞
			大規模建築物等の工事における火災危険度評価と防火診断に関する研究	秀賞
			ガソリン流出事故に対する一方策について	優賞
総務省消防庁	H9	論文	大規模事故における救急搬送シミュレーションの実施について	優秀賞

応募先	年度	区分	タイトル	賞の区分
総務省消防庁	H9	論文	「地域社会の防火・防災力の向上に関する研究」=木造密集地域の危険度評価体系の確立と検証=	優秀賞
全国消防協会		機器	住宅用防災機器の普及方策と器具の試作	優賞
		論文	外国の方々に分かる消火器使用方法の表示と訓練	優賞
総務省消防庁	H10	論文	木造共同住宅に対する火災予防対策について	優秀賞
			文化財(美術工芸品)の防火・消防活動対策に関する考察	優秀賞
機器		操作要領の絵文字化(消防用設備等の標識・操作要領表示の改良)	優秀賞	
		高所活動用ホース固定器具の開発について	優賞	
全国消防協会		論文	住宅用火災警報器の普及並びに設置場所に関する一考察	秀賞
総務省消防庁	H11	機器	ラリングアルマスク固定補助器具の開発について	優秀賞
			災害現場活動靴の改良	優秀賞
		論文	都市型水害用インスタント水のうの開発	優秀賞
			残存危険物の測定方法にかかる研究について	優秀賞
			出火危険を防ぐための高齢者が使いやすい差込みプラグの改良について	優秀賞
		全国消防協会	機器	鉄扉等の鋼製扉の効率的な開放方法について
論文			熱・煙複合光電式スポット型感知器による非火災報対策について	最優秀賞
			救命処置時の説明のあり方と接遇要領の一方策	秀賞
総務省消防庁	H12	論文	文化財を火災から守るために仏像等の文化財搬出・防災対策に関する研究	優秀賞
初期消火効力の向上策に関する研究			優秀賞	
全国消防協会		機器	持運びが便利な危険物実験装置及び収納ケースの試作について	優賞
			サージカルテープカッターの試作について	優賞
論文		ゲーム手法等を取入れた防火及び自主防災指導について	優賞	
総務省消防庁	H13	論文	環境にやさしい油流出事故の処理方法について	優秀賞
			中高層建物におけるサイホン現象を利用した水損防止について	優秀賞
			水損防止に関する一方策	奨励賞
全国消防協会		機器	伸縮自在型救助用当て木の試作について	優賞
		論文	広域的災害時における初期の自主防災活動要領について	秀賞
総務省消防庁	H14	論文	パソコンで作る幼児の防火教育用「ビデオ絵本」の作成について	優秀賞
全国消防協会		機器	障害突破式防火設備の開発について	秀賞
		論文	現場活動における高酸素濃度ガスの効果について	秀賞
スクープストレッチャーの冷たさが傷病者に与える影響についての一考察			優賞	
総務省消防庁	H15	機器	(※西京消防団)傾斜矯正付小型動力ポンプ用台座の開発	優秀賞
			ダンプカー等から土砂を直接投入できる土のう作成機の試作について	優秀賞
		論文	視覚障害者用、手の平感覚による避難誘導装置の考察	奨励賞
			小学生を対象とした普通救命講習について	奨励賞

応募先	年度	区分	タイトル	賞の区分
全国消防協会	H15	論文	発光物質（ゲル状）を活用した危険ゾーン明示についての考案	優賞
総務省消防庁	H16	論文	高所から低所への放水体形について	優秀賞
全国消防協会	H17	論文	事業所における応急手当の向上についての一考察	秀賞
総務省消防庁		機器	防火水槽の蓋を容易に開放できる器具の開発について	優賞
			可搬式小型動力ポンプソーラー補充電の考案（試作）について	優秀賞
		論文	大人に対する防火広報に用いるパネルシアターの作成とその有効性について	優秀賞
			「春夏秋冬，車を降りた時の静電気を一年を通じて測定した結果」とその活用の一考察について	優秀賞
			化学泡消火器の訓練指導用薬剤についての考察	優秀賞
全国消防協会	H18	論文	簡易にできる油分検出及び数値化による分析方法について	秀賞
筒先進入技術等の伝承の一方策について			優賞	
総務省消防庁		機器	住宅用火災警報器の設置推進用説明キットの作成について	秀賞
	機器	ホースラインや歩道の段差等を安全に乗り越え可能なホースカーの改良	優秀賞	
		聴覚障害者用住宅火災警報器の付属装置の開発について	優秀賞	
		論文	ガスこんろの過熱防止装置と天ぷらなべ火災に関する考察	優秀賞
			防火かるたを活用した子どもワークショップの手法について	優秀賞
			住宅用火災警報器は高齢者世帯にどこまで有効か	奨励賞
総務省消防庁	H19	論文	ゲーム感覚を取り入れたタウンウォッチングについて	優秀賞
より迅速かつ的確な放水活動を行うための「トレーニングシート」の作成」について			優秀賞	
総務省消防庁	H20	論文	潜水検索時の安全策の考察について	優秀賞
文化財の搬出計画に関する考察-文化財セーフティカードと文化財トリアージタグを活用した搬出活動-			優秀賞	
全国消防協会	H21	機器	要救助者等のプライバシー保護用シートの作製について	最優秀賞
担架使用時の体のずれを防止する器具「マルチ式フットストッパー」の試作について			秀賞	
救急指導アイテム「胸骨圧迫補助シート」の試作について			秀賞	
筒先の角度を容易に変えることのできるホースの開発について			優賞	
総務省消防庁		論文	観光ガイドによる文化財の震災対策に関する考察-観光ガイドは文化財のバイスタンダー-	優秀賞
救急活動における接遇についての一考察			優秀賞	
全国消防協会	H22	論文	「外国語対応救急活動シート」の改良について	優賞
		機器	救助ロープ用投下袋を活用した乳幼児用縛帯の試作について	秀賞
			光を発するマーキング災害現場対応「可変式マーカー」の試作について	秀賞
総務省消防庁		論文	事業所における住宅用火災警報器の設置促進に関する考察-住宅用火災警報器の100%設置を目指して-	優秀賞
全国消防協会	H23	論文	緊急走行の実写動画を活用した運転技術教育資料の作成	優賞

応募先	年度	区分	タイトル	賞の区分
全国消防協会	H23	論文	義務化後における住宅用火災警報器の設置指導に関する考察　ー壁設置の強調による未設置世帯の解消ー	優賞
		機器	ガンタイプノズルの安全性・利便性を向上させる改良について　～放水形状・放水量の各調整部分にグリップ等を付加～	優賞
総務省消防庁			水難検索棒の試作について	優秀賞
総務省消防庁	H24	論文	ホースの曲折が放水量に及ぼす影響に関する実験と考察	優秀賞
			救命講習のあり方についての一考察	優秀賞
			連結送水管への効果的な中継体形に関する考察と実証実験	優秀賞
			防災管理義務対象物における容易性・実効性を高めた防災訓練の開発とその実施結果～スーパーDIG～	優秀賞
全国消防協会	H25	論文	検査員の技能向上を目的とする情報共有システムの構築についてー過去の情報資産を活用した効率のよい手法ー	最優秀賞
		機器	面体着装時の無線音声を明瞭にするマイクロフォンの改良について	最優秀賞
総務省消防庁		論文	水深が浅く狭小な用水路におけるホースバッグを活用した吸水活動及び表面流速の簡易計測により流量を導出する方法について	優秀賞
			水流式排煙装置を活用した文化財保護戦術の構築	優秀賞
全国消防協会	H26	論文	部隊長のための「シミュレーションシート」＆「シミュレーション動画」の作成とその効果	最優秀賞
総務省消防庁			道路狭あい地域における消防戦術について～逆引きによる消火栓への水利部署に関する検証～	優秀賞
予防業務における人材育成の変革：新任建築検査員が的確に検査を実施するためのチェックリストを核とした教育ツールの構築			優秀賞	
全国消防協会	H27	論文	マスキングシートを活用した財産保護活動について	優賞
総務省消防庁		機器	積載型静電気拡散性オイルパンの開発について	優秀賞
全国消防協会	H29	論文	査察員教養シミュレーション動画の作成とその効果の検証について	最優秀賞
総務省消防庁			火災動画等を利用した筒先部署位置研修法の一考察	優秀賞